



令和7年度 小金井市立小金井第四小学校 学校経営方針

< 東京都教育委員会 教育目標 >

東京都教育委員会は、子供たちが知性、感性、道徳心や体力をはぐくみ、人間性豊かに成長することを願い、

- 互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間
- 社会の一員として、社会に貢献しようとする人間
- 自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間の育成に向けた教育を重視する。

< 小金井市立小金井第四小学校 教育目標 >

人間尊重の精神を基本とし、広く国際社会に生きる人間として、心身ともに健康で生涯を通して学び続けることのできる児童の育成をめざす。

- つよく 心も体もたくましい子
- かしこく よく考え実行する子
- ◎ あたたかく 思いやりのある子

< 小金井市教育委員会 教育目標 >

一人一人の子供が未来を創造する当事者として、活発な好奇心をもち、創造的な課題発見・解決力を身に付けると共に、健康で人間性豊かに成長することを願い

- 自他の人権や多様な文化を尊重し、寛容で思いやりのある人
- 自ら学び協働して問題を解決していく、創造力豊かな人
- 地域社会の一員として、社会貢献できる人
- 健康の大切さを理解し、心身ともにたくましく生きる人の育成に向けた学校教育を推進する。

< めざす学校像 >

「みんなの笑顔が輝く学校」

- ◆ 子供が、「今日も登校してよかった」と実感できる学校
- ◆ 「チーム小金井四小」の力を結集し、主体的に課題を解決していく学校
- ◆ 保護者・地域が、「学校に足を運んでよかった」と思ってもらえる学校

< めざす教職員像 > 子供の数は、新しい未来を創る「希望の数」

- ◇ 子供一人一人を大切にする教職員
- ◇ その子らしさを最大限伸ばす教職員
- ◇ 一人一人に適切ななかかわりをする教職員
- ◇ 全体の奉仕者である教育公務員としての自覚と使命を果たす教職員

クリティカル・シンキングを働かせる

- ・多面的・多角的思考 「他に考え方はないか」
- ・論理的思考 「筋がとおって分かりやすいか」
- ・メタ認知 「本当にこれでよいか」

< 学校教育目標を達成するための主な取組 >

四小スタンダードの確立

(四小の良き伝統を引き継ぎながら、新しい時代の変化に柔軟に対応できる持続可能な学校づくりをめざして)

- ◆本校の教職員が今までに培ってきた普遍的な教育技術を、「四小スタンダード」として残していくことで人材育成を図る。指導の一貫性が児童の安心・安全の基盤をつくり、学力向上をめざせると考える。
- ◆「四小スタンダード」は、スタートカリキュラムの実施、小・中連携教育、デジタル・シティズンシップ教育、教科担任制導入の視点で、生活指導、授業スタイルの2本柱で確立していく。
- ◆令和7・8年度小金井市教育委員会研究奨励校としてチーム一丸となって取り組む。地域、保護者が共に取り組めるもの、そして四小教員の指導の羅針盤となる「四小スタンダード」を確立していく。

安心・安全

多様性

1 人権尊重教育の推進

- ・「小金井市子どもの権利に関する条例」の周知
- ・生命尊重、いじめ防止に関する授業を毎学期実施
- ・ひだまり教員による、児童、保護者への理解促進
- ・ユニバーサルデザインの導入、及び合理的配慮の提供
- ・子供の声を取り入れ、児童主体の特別活動の実施

2 危険予知能力の育成

- ・毎月の安全指導、避難訓練の確実な実施と改善
- ・4つの「あ」(挨拶、安全、集まり、後片付け)を徹底
- ・デジタル・シティズンシップ教育の推進

3 教育相談機能の充実

- ・各相談窓口の周知 ・SOSの出し方を周知
- ・心理士によるアセスメントを生かした個別支援
- ・登校支援委員会(毎月1回以上)の実施と居場所づくり

授業変革

主体性

1 子供の主体性を生かした授業変革

- ・児童主体の問題解決型の授業づくりと体験活動の充実
- ・問いの発見、学習方法の選択、対話の設定
- ・宿泊学習や校外学習における体験活動を通した探究的な学びの充実
- ・ICT機器の効果的な活用と校内での情報共有
- ・授業改善推進プランに基づいた授業実施と検証
- 「書くことは考えること」書く学習の設定

2 校内研究・研修

- ・四小スタンダードの作成(教員の対話 熟議 児童の声)
- ・研究教科「国語」における授業スタイルの確立

3 健康教育の推進

- ・「保健だより」「ランチニュース」の活用
- ・短縄週間 持久走週間、長縄チャレンジの継続
- ・朝外遊び(1日/週)、休み時間の外遊びの励行

チーム四小・地域連携

創造性

1 校務分掌の見直し

- ・ベテラン教員と若手教員のペアでOJTを実施
- ・校内の整理整頓(毎月1回の安全点検と環境整備)
- ・「まなびポケット」を活用した配布物のクラウド化
- ・会議の精選 会議時間の始めと終わり明記

2 コミュニティ・スクールとしての地域連携

- ・地域の教育資源を生かした体験活動の充実
- ・学校の地域貢献(児童、教職員、保護者による)
- ・教育活動に関する積極的な情報発信
- ・地域学校協働活動、PTA活動の連携
- ・ハチドリプロジェクトの継続

3 小・中連携、幼・保・小連携

- ・南中、前原小との連携による授業参観の実施
- ・近隣の幼稚園や保育園との交流授業の実施
- ・保幼小連携によるスタートカリキュラムの実践